

令和5年度事業報告書



社会福祉
法 人

岩倉市社会福祉協議会

目 次

第1 社会福祉事業

1 法人運営事業	1
2 地域福祉活動推進事業	5
3 地域福祉計画推進事業	8
4 ボランティアセンター運営事業	9
5 いきいき介護サポート事業	13
6 共同募金配分金事業	14
7 資金貸付事業	16
8 福祉サービス利用援助事業	18
9 訪問介護事業	19
10 障害福祉サービス事業	20
11 居宅介護支援事業	21
12 生活支援コーディネーター事業	22
13 基金運営事業	23

第2 公益事業

1 岩倉市ふれあいセンター事業	24
2 地域包括支援センター事業	25

事業報告の附属明細書 29

第 1　社会福祉事業

1 法人運営事業

(1) 理事会及び評議員会等の適切な運営

ア 理事会 役員 理事 10人、監事 2人

　　第1回理事会 5月29日(月)

　　第2回理事会 6月16日(金)

　　第3回理事会 令和6年3月4日(月)

イ 評議員会 評議員 25人

　　定時評議員会 6月16日(金)

　　第2回評議員会 令和6年3月18日(月)

ウ 監事会 2人

　　第1回監事会 5月16日(火)

エ 評議員選任・解任委員会 委員 4人

　　第1回評議員選任・解任委員会 6月 7日(水)

オ 正副会長会議 4人

　　第1回正副会長会議 4月25日(火)

　　第2回正副会長会議 5月22日(月)

　　第3回正副会長会議 令和6年1月29日(月)

　　第4回正副会長会議 2月19日(月)

(2) 会員の加入促進による安定した自主財源の確保

7月に会員募集を行いました。会費の5割は各支会に地域福祉事業費として助成し、残りの5割は市全体の地域福祉推進のために活用しました。

会員の募集結果は、次のとおりです。

3,090,385円

(内訳)

一般会員 5,622口 2,813,715円

特別会員 20口 20,000円

法人会員 84口 256,670円

(3) 研修等による職員の人材育成

職員の資質向上を図るため、研修会に参加しました。

参加結果は、次のとおりです。

研修会 49回 参加人数 71人

研修名	人数	主催者	会場
尾張北部権利擁護支援センター5周年記念講演会	1人	尾張北部権利擁護支援センター	アデリア総合体育文化センター
安全運転管理者講習会	1人	愛知県安全運転管理協議会	江南市民文化会館
改正障害者差別解消法にかかる説明会	1人	内閣府	オンライン
苦情解決者及び第三者委員研修会	1人	愛知県社会福祉協議会	オンライン
尾張部社会福祉事業連絡協議会研究協議会	2人	尾張部社会福祉事業連絡協議会	名古屋芸術大学アートスクエア
尾張部社会福祉事業連絡協議会県外視察研修	1人	尾張部社会福祉事業連絡協議会	岐阜県社会福祉協議会 大垣市社会福祉協議会
第12回あいちふくしシンポジウム	2人	愛知県社会福祉協議会 中日新聞社・中日新聞社会福祉事業団	東急ホテル
地域共生社会推進セミナー	1人	愛知県社会福祉協議会	ウィル愛知
第1回愛知県介護保険指定事業者講習会	1人	愛知県	オンライン
地域ケア個別会議（自立支援型）	1人	岩倉市	岩倉市役所
介護支援専門員事例検討会	1人	尾北医師会 地域協力ケアセンター	尾北医師会館
第2回岩倉ケアマネ会議	1人	岩倉ケアマネ会	ふれあいセンター
地域ケア個別会議（自立支援型）	1人	岩倉市	岩倉市役所
介護支援専門員事例検討会	1人	尾北医師会 地域協力ケアセンター	尾北医師会館 地域協力センター
第3回岩倉ケアマネ会議	2人	岩倉ケアマネ会	ふれあいセンター
障害歯科治療って知ってる? 『障害のある方、重度介護者の方の歯科治療について』	1人	医療法人尾張健友会	オンライン
岩倉市指定居宅介護支援事業者等集団指導会	1人	岩倉市	生涯学習センター
市町村委員等研修会及びブロック別委員会議及び委員総会	2人	愛知県ホームヘルパー連絡協議会	愛知県社会福祉会館
第1回岩倉市地域福祉計画「顔の見える連携交流会」	3人	岩倉市	岩倉市役所
第2回岩倉市地域福祉計画「顔の見える連携交流会」	4人	岩倉市	ふれあいセンター
ヤングケアラー支援関係者研修会	2人	愛知県 名古屋市	鯉城ホール
サービス事業所交流会	2人	岩倉ケアマネ会	生涯学習センター
愛知県ホームヘルパー連絡協議会スキルアップ研修会	1人	愛知県ホームヘルパー連絡協議会	愛知県社会福祉会館
尾北地区ブロック研修会「介護職の為の腰痛対策講座」	7人	尾北地区ブロック幹事 扶桑町社会福祉協議会	あいちせぼね病院
サービス提供責任者等研修会	1人	愛知県ホームヘルパー連絡協議会	愛知県社会福祉会館

研修名	人数	主催者	会場
専門職対象『家族支援セミナー』	1人	NPO 法人 HEART TO HEART	名古屋市総合社会福祉会館
岩倉市地域自立支援協議会地域共生部会 事業所交流会	1人	岩倉市基幹相談支援センター	岩倉市役所 7階 大会議室西東
現任研修会	1人	愛知県ホームヘルパー連絡協議会	オンライン
入退院調整支援研修（2日間）	1人	国立長寿医療研究センター	オンライン
入退院調整支援事業モデル事業報告会	1人	国立長寿医療研究センター	ウインクあいち
プラチナ長寿健診による成果物利用説明会	1人	国立長寿医療研究センター	オンライン
近隣市町村の認知症地域支援推進員等との情報交換会	1人	稻沢市社会福祉協議会	稻沢市役所
地域支援事業推進研修（管理者向け）	1人	愛知県	TKP 名古屋駅前カンファレンスセンター
愛知県若年性認知症自立支援ネットワーク研修初任者研修	1人	愛知県	オンライン
愛知県若年性認知症自立支援ネットワーク研修フォローアップ研修	1人	愛知県	オンライン
地域包括ケア研修会（2日間）	1人	愛知県社会福祉協議会	愛知県社会福祉会館
愛知県介護支援専門員研修・更新研修（14日間）	2人	愛知県社会福祉協議会	第一富士ビル・オンライン
福祉講演会およびシルバーサービス振興連絡協議会全国大会	1人	愛知県シルバーサービス振興会	名古屋商工会議所
高齢者相談対応人材育成研修会	1人	愛知県居宅介護支援事業者連絡協議会	名古屋市中小企業振興会館
居宅サービス全般の概要・基本的な考え方	1人	愛知県居宅介護支援事業者連絡協議会	刈谷市産業振興センター
居宅介護支援事業所におけるLIFEの活用	1人	愛知県居宅介護支援事業者連絡協議会	刈谷市産業振興センター
岩倉市介護支援専門員研修会（2回）	5人	岩倉市・愛知県市町振興協会	生涯学習センター
3市2町社会福祉協議会連絡協議会職員研修会	3人	3市2町社会福祉協議会連絡協議会	すいとぴあ江南
成年後見制度利用促進シンポジウム	1人	愛知県	オンライン
情報収集型研修会	1人	国立長寿医療研究センター	オンライン
岩倉市ゲートキーパー研修	1人	岩倉市	岩倉市役所
高齢者虐待防止対応人材養成研修	1人	愛知県社会福祉士会	ウィル愛知
地域包括支援センター・在宅介護支援センター研修会	1人	愛知県社会福祉協議会	愛知県社会福祉会館
地域包括支援センター法律支援業務事業内容及び活用法説明会	1人	愛知県弁護士会	オンライン

(4) 広報紙の発行と、市広報及び報道機関等への各種事業紹介やホームページでの啓発と各種事業紹介

広報編集委員会を開催し、広報「岩倉みんなのふくし」を年4回（6月1日、9月1日、1月1日、3月1日）発行し、市内全戸に配布しました。

広報紙は、視覚障害者に対し、音訳CDをボランティア団体「岩倉市音訳の会あめんぼ」の協力を得て作成しました。

ホームページでは、事業計画や事業報告など法人の運営、ボランティア養成講座の募集などの事業の情報発信を行いました。

(5) 福祉サービスに対する苦情への適切な対応

社会福祉法、介護保険法、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律に基づき、福祉サービス等を提供する事業者として、利用者からの苦情への適切な対応、解決に努めました。

令和5年度の件数は6件でした。

分類1	分類2	結果
福祉サービスに関すること	職員の接遇	解決
福祉サービスに関すること	説明・情報提供	解決
福祉サービスに関すること	サービスの質や量	解決

(6) 寄付

社会福祉事業の進展に寄与することを目的に個人・団体等から寄付を受けました。

寄付金は、一般寄付金として351,146円（19件）、社会福祉基金寄付金として84,087円（7件）がありました。

寄付物品は、食料品が1件、紙おむつ2件、車いす1件ありました。

(7) 働き方改革の推進

ア 有給休暇取得率 73%

イ 年5日の年次有給休暇の取得

取得対象者 33人 取得者33人

ウ 育児休業取得者 4人

(8) 事業継続計画の教育・訓練の実施

実施日 9月24日（日）

2 地域福祉活動推進事業

(1) 支会活動事業

ア 支会活動推進委員会の開催と、地域住民による地域の実情に合わせた支会活動の推進

(ア) 支会活動推進委員会

支会における地域住民の主体的な福祉活動が円滑に実施されるよう、各支会長・副支会長をはじめ関係者による支会活動推進委員会を次のとおり開催しました。

開催結果は、次のとおりです。

第1回 5月31日（水）

- ・支会活動推進委員会委員長及び副委員長の選任について
- ・令和5年度各支会活動事業計画について
- ・各種助成金について

第2回 令和6年2月28日（水）

- ・支会設置規程の改正
- ・支会活動助成金交付要綱の制定、ふれあい・いきいきサロン事業実施要綱の改正
- ・支会活動推進委員会設置要綱の改正
- ・令和6年度支会活動計画・報告書の様式変更
- ・令和6年度支会活動事業計画（案）について

(イ) 支会活動

各支会において、地域の実情に合わせた独自の福祉事業を推進しました。

また、支会ごとに、ふれあい・いきいきサロンが実施されました。

事業内容は、次のとおりです。

支 会	事 業	時 期
北支会	祝80歳の集い	9月
	寝たきり老人友愛訪問・100歳長寿祝	9月
	古い道具と昔のくらし	10月
	ひとり暮らし高齢者の友愛訪問	12月
	使用済み切手等収集	2月
	ぼた餅づくり体験	2月
	ご近所のおじいちゃん・おばあちゃんと遊ぶ会	3月
	新一年生入学児童へ祝品贈呈	3月
上支会	下校時の見守り	毎月1回
	西市町区・新柳町区・新柳町1区合同サロン（ふれあい・いきいきサロン）	5月
	鈴井町区ふれあいお茶べりサロン（ふれあい・いきいきサロン）	5月
	泉町区ふれあい・いきいきサロン「シルバーリハビリ体操」	6月

支 会	事 業	時 期
支 会	本町区「ゲームで遊ぼう」健康体操、ゲーム、紙芝居（ふれあい・いきいきサロン）	6月
	使用済切手・使用済カード・書き損じはがきの回収	7月
	本町区ひとり暮らし熱中症対策【ペットボトル500ml（お茶、水）合計3本届ける】	7月
	80歳の集い	中止
	本町区ひとり暮らし昼食会（ふれあい・いきいきサロン）	10月
	西市町区・新柳町区・新柳町1区合同サロン（ふれあい・いきいきサロン）ボッチャ大会、ギター、マンドリン演奏会	10月
	泉町区ひとり暮らし高齢者交流会（ふれあい・いきいきサロン）クリスマスリース作り	10月
	鈴井町区秋のふれあいお茶べりサロン「家の中で起こる転倒などの事故について」、歌、マジックショー	11月
	泉町区ふれあい・いきいきサロン「認知症予防について」	11月
	新入学児童へ祝い品の贈呈	4月
中支会	あいさつ運動	毎月第1水曜
	児童遊園・通学路・集合場所の安全点検パトロール	5月
	シリリハ体操教室	6月
	敬老会（ふれあい・いきいきサロン）	9月
	正月飾り作り（ふれあい・いきいきサロン）	12月
	さわやか健康体操（ふれあい・いきいきサロン）	毎月第1・3月曜
下支会	おしゃべりサロン	奇数月第4水曜
	見学交流会	6月
	下本町区民盆踊り大会参加	7月
	みんなで子育て	10月
	車いす点検・修理	10月
	地域の皆さんとお楽しみ会	3月
	新入学児童祝い品贈呈	3月
団地 支会	ふれあいバス見学会	5月
	ふれあい茶話会	7月
	ふれあい茶話会（ふれあい・いきいきサロン）【参加対象者へお菓子を配布】歌謡ショー、bingoゲーム	2月
	見守りサポート隊情報交換会	2月
	新一年生入学祝い品配付	3月
西支会	新入学児童へ祝品贈呈	4月
	南新町 ふれあい交流会	5月
	川井町 ふれあい交流会	6月
	中央町 ふれあい交流会	7月
	カリフラワー苗植え・収穫祭（ふれあい・いきいきサロン）	9・12月

支 会	事 業	時 期
	ひとり暮らし高齢者訪問	9・12月
	北島町 ふれあい交流会	9月
	大地町 ふれあい交流会	10月
	野寄町 ふれあい交流会	11月
南支会	ふれあい昼食会	5月
	大型紙芝居	7月
	輪投げ・ボッチャ大会（ふれあい・いきいきサロン）	10月
	しめ縄づくり	11月
	新入学児童祝品贈呈	3月

イ 使用済み切手等の収集活動

支会活動の一環として地域の回覧板による収集と、岩倉郵便局及びふれあいセンターに回収箱を設置し、使用済み切手等を収集しました。

収集した使用済み切手等は、ボランティア団体「ラッコの会」の整理を経て、障害者の理解啓発の資金等として活用されています。

使用済み切手の収集実績は、12kgでした。

（2）福祉機器貸出事業

ア 在宅介護用福祉機器等の貸出

機器名	貸出延べ件数	令和5年度末所有台数
車いす	138	67

※件数は3か月を1件として集計。

3 地域福祉計画推進事業

(1) 第3期地域福祉計画並びに地域福祉活動計画の推進

令和5年度から7年間の第3期岩倉市地域福祉計画について、岩倉市と共同事務局として推進しました。

実施結果は、次のとおりです。

- ・地域福祉計画推進委員会の開催 9月22日（金）、令和6年3月21日（木）
- ・事務局会議の開催 年7回

(2) 地域つながりづくり会議の推進

様々な地域単位で、地域つながりづくり会議の実施に向け、地域アセスメントのため、人口や世帯数や社会資源などを整理しました。

(3) いわくらあんしんねっとの推進

地域包括ケアシステムの構築を図るため、福祉専門職、行政相談窓口職員を対象に「顔の見える連携交流会」を開催しました。

実施結果は、次のとおりです。

第1回 第3期岩倉市地域福祉計画概要説明

業務紹介シートをもとに自身の仕事の説明、参加者間の質問や交流

日 時：5月31日（水）午前10時～正午

場 所：岩倉市役所7階 大会議室

参加人数 49人

第2回 事例検討～利用者等の対応に関する困難事例の検討～

日 時：7月13日（木）午後2時～午後4時

場 所：岩倉市ふれあいセンター3階 視聴覚室兼研修室

参加人数：49人

第3回 講演会

テーマ：地域共生社会の実現に向けて～多機関協働に必要なアセスメントと支援の理解～

講 師：一般社団法人コミュニティーネットハピネス

代表理事 土屋幸己 氏

日 時：12月22日（金）午前10時～正午

場 所：岩倉市役所7階 大会議室

参加人数：36人

第4回 事例検討～複合的課題のつなぎ方について、事例検討をしながら参加者間での意見交換～

日 時：令和6年2月15日（木）午前10時～正午

場 所：岩倉市ふれあいセンター3階 視聴覚室兼研修室

参加人数：30人

4 ボランティアセンター運営事業

(1) ボランティアセンター事業

ア ボランティアセンター運営委員会によるボランティアセンターの運営や啓発活動、福祉教育講座の開催（共同募金配分金事業）

ボランティアセンターの運営を円滑に行うため、ボランティアセンター運営委員会を開催しました。

開催結果は、次のとおりです。

開催日	主な議題
7月5日	・ボランティア意識調査 ・令和4年度ボランティアセンター事業報告 ・令和5年度ボランティアセンター事業進捗状況
令和6年 2月26日	・ボランティアセンター設置及び運営に関する規程等の改正 ・令和6年度事業計画 ・令和5年度ボランティアセンター事業進捗状況

イ ボランティア養成講座の開催（共同募金配分金事業）

ボランティアセンター登録団体の協力によるボランティア養成講座を開催しました。

開催結果は、次のとおりです。

講座名	回数	受講者数	修了者数
点訳ボランティア養成講座	5	1	1
要約筆記ボランティア養成講座	7	5	5
災害ボランティア講座	1	38	
合計		44	6

ウ ボランティア相談・登録・あっせん活動

平日午前9時から午後5時までボランティア相談を受け付けています。令和5年度で相談員の相談は終了することとしました。

相談受付件数は、次のとおりです。

内容	件数
ボランティア活動の情報を知りたい	1
ボランティア活動を始めたい	6
活動上の悩みについて	0
ボランティアを頼みたい	9
その他	1
合計	17

エ 各種ボランティア活動団体への支援・協力

ボランティアセンター登録団体等の活動を支援するために、必要に応じて会議等に参加しました。

ボランティアセンターのボランティア登録数は、団体では解散による登録取り消しがあり、個人では1人の登録と5人から登録取り消し申し出があり、

年度末の登録数は次のとおりとなりました。

30団体 個人 15人

登録団体は、次のとおりです。

団体名	活動内容
あゆみの会※	特別養護老人ホーム内のボランティア活動
岩倉ハーモニカクラブ・たんぽぽ	福祉施設での歌のレクリエーション
イキイキライフの会	車いす磨き、パソコンサロン、施設訪問、要支援者への生活支援
岩倉市シルバーリハビリ体操指導士会	シルバーリハビリ体操を広げるとともに岩倉市民の介護予防に寄与すること
岩倉ボランティアサークル	子ども関連の行事等のレクリエーション指導
岩倉市子ども会連絡協議会	子ども会活動の指導・連絡調整
南中ボランティアサークル	国際協力・地域行事への参加
岩倉スカウト育成会	青少年育成活動
Let's (レツツ)	小学校での授業前英語活動等
岩倉図書ボランティアネットワーク	図書ボランティア活動や情報交換及び学習活動
さくらんぼ	乳幼児親子の交流や育児相談
岩倉点字くすのきの会	点字図書の作成等
岩倉市音訳の会あめんぼ	市広報等の音訳CDの作製
岩倉市要約筆記サークルさくら	難聴者・中途失聴者に対する筆記通訳等
岩倉手話サークルこいのぼり (昼の部)	手話の学習・通訳等
岩倉手話サークルこいのぼり (夜の部)	手話の学習・通訳等
みのりの里ボランティアの会	障害者施設での作業の手伝い
西尾張明るい社会づくりの会 (岩倉支部)	アフリカへ毛布を送る活動
岩倉青年会議所	岩倉のまちづくり啓発活動
岩倉市老人クラブ連合会	公園等の清掃活動等
岩倉の水辺を守る会	五条川とその周辺の清掃及び環境保護活動
岩倉市国際交流協会	外国人向け相談・支援・交流活動
いわくら・ユニバーサルデザイン研究会	ユニバーサルデザインの普及と啓発活動
ラッコの会	使用済み切手等の整理
リリオの会	メダカを通しての環境保護活動等
岩倉市婦人会	地域福祉推進活動等
岩倉防災ボランティアの会	防災啓発、ボランティア支援本部におけるコーディネーター活動
HLCふれあい塾	ITを活用し、パソコンの普及を図り、高齢者の生きがい、見守りに寄与する
美楽食の会	お花やお茶をとおして、思いやりの心を育む
ハラウ ピオ ケ アヌエヌエ	施設慰問にてフラダンスの披露等

※あゆみの会は令和6年3月31日に登録取り消し。

オ ボランティア連絡協議会への支援（共同募金配分金事業）・協力
ボランティア連絡協議会の活動を支援するために、必要に応じて会議等に
参加しました。

カ ボランティア活動用備品機材・レクリエーション用品貸出
音響セットやグラウンドゴルフセットなど、22種68点の機材を
141件貸し出しました。

キ ボランティア活動保険の受付窓口
実績は次のとおりです。

内 容	件 数
ボランティア活動保険	545人
ボランティア行事用保険	40件

ク いわくら福祉フェスティバルの開催による福祉とボランティアの啓発（共同募金配分金事業）

広く市民に福祉全般について、周知・啓発を行うことにより地域福祉に対する関心を高め、ボランティア活動・市民活動に参加意欲の向上を図り、地域福祉の発展に寄与することを目的に「第37回いわくら福祉フェスティバル」を開催しました。

・アリーナ会場における福祉コーナーの運営

地域福祉推進啓発コーナー・赤い羽根作品展、共同募金運動PRコーナー等

入場者数 11月11日（土）543人・12日（日）492人（概算）

・バザール会場における模擬店の運営

うどん等の販売、市内2社会福祉法人の自主製品販売

ケ 災害ボランティア活動事業

災害時に被災住民の速やかな自立復興を行うボランティア活動を効率的・効果的に展開するために、次の事業を実施しました。

・地域ボランティア支援本部設置訓練

9月24日 市ふれあいセンター ボランティア11人

ボランティア受付兼活動報告、ボランティア需給調整、資材置き場の3グループに分かれ、用品等を配置・掲示し、支援本部レイアウト案を検討しました。

・災害ボランティア講座 令和6年2月17日（土）市消防署 参加者38人

（2）福祉教育事業

市内全ての小中学校を福祉協力校に指定し、児童・生徒を対象に、社会福祉への理解と関心を高め、ボランティアや社会連帯の精神を養うことを目的に、福祉に関する実践学習及び福祉施設での体験学習の機会を提供しました。

ア 福祉実践教室の開催（共同募金配分金事業）

開催結果は、次のとおりです。なお、個別に開催された小学校のユニバーサルデザインの教室と岩倉南小学校で開始されたボッチャのお楽しみ会は表

に含まれていません。

学校名	小学校					中学校	
	岩倉北	岩倉南	岩倉東	五条川	曾野	岩倉	南部
開催日	10月10日	7月12日	6月1日	6月19日	9月14日	6月21日	10月18日
曜日	火曜	水曜	木曜	月曜	木曜	水曜	水曜
開始時間	8:45 ↓	9:40 ↓	13:20 ↓	10:45 ↓	8:45 ↓	9:45 ↓	13:50 ↓
終了時間	10:25	11:30	14:55	12:20	12:20	11:40	15:40
学年	5	4	3	4	4	4	3
児童生徒数	107	74	21	16	68	71	83
教員	5	5	4		3	4	3
講師協力者	33	17	22		12	5	20
手話	19	22		16	23		18
要約筆記	18						30
点字	18				21		17
音訳							36
アイマスク体験	15	28	21		24		15
盲導犬							
車いす	16	24		16		71	19
高齢者理解							14
UD							34
セピートック	21		21				39
							21

イ 青少年等ボランティア福祉体験学習

愛知県社会福祉協議会の事業として、夏休みを利用して中学生の市内福祉施設での体験学習を実施しました。生徒7人の参加があり、1カ所の施設で体験しました。

ウ 福祉体験作文コンクール

愛知県社会福祉協議会の事業として実施され、市内福祉協力校から4作品（児童2点、生徒2点）の応募がありました。入選作品はありませんでした。

5 いきいき介護サポーター事業（市受託事業）

（1）介護サポーター活動を通しての介護予防等の取り組みを支援

高齢者が高齢者施設で、介護サポーター活動を通して、社会参加、地域貢献を行いながら、自らの介護予防及び健康増進に取り組むことを支援する事業です。

新型コロナウイルスなど感染症の拡大防止のため、受入機関である高齢者施設で受入れができなかったため、活動実績はありません。

介護予防の取組みを研究するため、登録者を対象に健康状態や介護予防への意識の変化についてのアンケートを実施しました。

なお、登録実績は、次のとおりです。

登録者数 25人 受入機関 12か所

6 共同募金配分金事業

(1) 高齢者福祉事業

高齢者の活動促進や健康づくりを推進するため、老人クラブへ助成金を交付しました。

(2) 障害者福祉事業

ア スポーツフェスティバルの開催

6月3日（土）にアデリア総合体育文化センターで、障害児・者の自立と社会参加を促進し、体力の向上や健康増進に資するとともに、地域の住民との交流の機会を通して障害への理解を深めることを目的に開催しました。

開催結果は、次のとおりです。

参加者数 37人 ボランティア数 61人

種目 フライングディスク、カローリング、ねらってボッチャ、たまいれ

（体験種目：ラダーゲッター、ディスゲッター、クロリティ）

イ 夢コンサートの開催

12月10日（日）にアデリア総合体育文化センターで、障害児・者の自立と社会参加を促進し、音楽を通して地域住民との交流を図り、障害者の理解、啓発を図ることを目的に開催しました。

開催結果は、次のとおりです。

参加者数 50人 ボランティア数 35人

出演者：岩倉太鼓友の会（太鼓）、いわくら鳴子おどりの会五条川桜（踊り）、

二宮奈都記（歌）、だるまブラザーズ（歌と踊り）

ウ ニューミックステニス大会への助成

障害者の自立及び社会参加の促進を推進するため、岩倉市テニス協会主催のニューミックステニス大会事業に助成金を交付しました。

エ おもちゃ図書館の運営

心身に障害のある子どもたちなどに、おもちゃでの遊びを通して心身の発達を促すことを目的に、おもちゃの貸出と遊び場を提供しています。

開催については、毎週月曜日午前10時から正午まで、岩倉市ふれあいセンターで実施しました。

運営は、ボランティア団体「さくらんぼ」の協力を得ています。

開催結果は次のとおりです。

開催回数 46回 延べ利用者数 116人 貸出件数 9件

(3) 児童・青少年福祉事業

ア 福祉実践教室の開催（再掲）

(4) 福祉育成・援助事業

ア 広報紙の発行（再掲）

イ 火災住居への見舞金

市内の住居家屋が半焼または全焼した場合に見舞金を支給しました。

実績は、全焼2件に見舞金を支給しました。

(5) ボランティア育成事業

ア ボランティアセンターの運営（再掲）

イ ボランティア養成講座の開催（再掲）

(6) 各種福祉団体等への助成事業

社会福祉関係団体の活動促進を図るため、補助金を交付しました。

実績は、次のとおりです。

区分	団体数
高齢者福祉事業	1
障害者福祉事業	5
児童・青少年福祉事業	1
福祉育成・援助活動事業	4
ボランティア活動育成事業	1
合計	12

(7) 歳末たすけあい配分金事業

ア ひとり暮らし高齢者事業

各支会にひとり暮らし高齢者ふれあい事業費として、配分しました。

イ 介護者手当受給者への支援金等の配付

対象者42人に配付しました。

ウ 児童福祉施設通所者への支援金等の配付

療育支援のため、指定児童発達支援事業所あゆみの家のクリスマス会において、通所者12人に2,000円の図書券を贈りました。

エ 子ども食堂への助成

岩倉市子ども食堂ネットワークに加入している岩倉市内の子ども食堂3か所へ助成しました。

7 資金貸付事業

低所得者、障害者又は高齢者に対し、経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようすることを目的に、資金の貸付けと必要な相談支援を行うことに努めました。結果は、以下のとおりでした。

(1) 貸付相談支援業務

貸付事業における相談内容

相談内容	相談件数	比率 (%)
生活費	38	51.3
医療費	4	5.4
失業等による生活苦	13	17.6
生活保護受給までのつなぎ資金	9	12.2
教育費	10	13.5
その他	0	0
合 計	74	100.0

貸付事業における種別ごとの相談件数

資金種別	相談件数	比率 (%)
生活福祉資金貸付事業	61	82.4
くらし資金貸付事業	0	0
法外貸付事業	13	17.6
出産資金貸付事業	0	0
合 計	74	100.0

(2) 生活福祉資金貸付事業（愛知県社会福祉協議会受託事業）

貸付件数等

貸付資金種類	新規貸付件数	償還中貸付件数	償還完了件数
総合支援資金	0	34	0
福祉資金	0	60	1(破産)
その他	0	5	0

※福祉資金（福祉費、緊急小口資金、教育支援資金）

※その他（不動産担保型生活資金、要保護世帯向け不動産担保型生活資金、臨時特例つなぎ資金、離職者支援資金）

貸付及び償還等の状況

(単位：円)

		元 金	貸付利子	延滞利子	合 計
総合支援資金	貸付金額	17,588,323	1,164,612	-	18,752,935
	未償還金残高	15,806,373	1,032,932	7,885,334	24,724,639
福祉資金	貸付金額	44,910,000	174,102	-	45,084,102
	未償還金残高	29,931,040	133,702	9,466,406	39,531,148
その他	貸付金額	1,700,000	122,000	-	1,822,000
	未償還金残高	1,673,340	119,980	2,542,339	4,335,659

緊急小口資金等の特例貸付及び償還等の状況

(単位：円)

		件数	元 金	延滞利子	合 計
総合支援資金	貸付金額	494	251, 917, 000	-	251, 917, 000
	未償還金残高	494	246, 517, 100	0	246, 517, 100
緊急小口資金	貸付金額	581	98, 100, 000	-	98, 100, 000
	未償還金残高	581	82, 687, 720	51, 711	82, 739, 431

(3) くらし資金貸付事業（愛知県社会福祉協議会受託事業）

貸付件数等

新規貸付件数	償還完了件数
0	0

貸付及び償還等の状況

(単位：円)

区分	貸付の状況		償還の状況		支払免除		未償還額累計	
	件数	金額	金額	件数	金額	件数	金額	
令和4年度	0	0	105, 000	0	0	3	153, 000	
令和5年度	0	0	0	0	0	3	153, 000	

(4) 出産資金貸付事業

令和5年度償還完了件数 0件

貸付及び償還等の状況

(単位：円)

区分	貸付の状況		償還の状況		支払免除		未償還額累計	
	件数	金額	金額	件数	金額	件数	金額	
令和4年度	1	100, 000	0	0	0	3	174, 000	
令和5年度	0	0	0	0	0	3	174, 000	

(5) 法外貸付事業

令和5年度償還完了件数 15件

貸付及び償還等の状況

(単位：円)

区分	貸付の状況		償還の状況		支払免除		未償還額累計	
	件数	金額	金額	件数	金額	件数	金額	
令和4年度	15	395, 000	461, 000	0	0	24	569, 000	
令和5年度	13	315, 000	357, 000	0	0	22	527, 000	

8 福祉サービス利用援助事業

(1) 日常生活自立支援事業の推進（愛知県社会福祉協議会受託事業）

認知症高齢者や知的障害者、精神障害者など福祉サービスの契約や利用料の支払いなどに不安を感じている人に対して、生活支援員（登録者7人）などによる自立生活を支援する取り組みを行いました。

利用状況等は、次のとおりです。

契約等件数

契約等件数	認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	合計
新規契約件数	1	0	0	1
解約件数	0	1	1	2
年度末契約件数	11	4	5	20

※契約は、利用者、愛知県社会福祉協議会、岩倉市社会福祉協議会の三者契約
相談・支援数

相談・支援数	認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	合計
相談件数	117	101	87	305
支援回数	234	114	177	525

9 訪問介護事業（介護保険法等）

介護保険法、母子及び父子並びに寡婦福祉法、児童福祉法に基づき、訪問介護員の派遣をしています。令和5年度の実績は、次のとおりです。

（1）訪問介護事業（介護保険事業）

対象者：要介護1から要介護5までの認定者

利用件数 75件 利用回数 499回 利用時間 527.75時間

（2）第一号訪問事業（介護予防・日常生活支援総合事業）

対象者：事業対象者、要支援1、2の認定者

ア 介護予防訪問介護相当サービス

利用件数 218件 利用回数 1,373回 利用時間 1,026.25時間

イ 訪問型サービスA

利用はありませんでした。

（3）ひとり親家庭等日常生活支援事業（市受託事業）

対象者：ひとり親家庭で自立促進や社会的事由により定期的に生活援助のサービスが必要な世帯

利用件数 7件 利用回数 21回 利用時間 26時間

（4）養育支援訪問事業（市受託事業）

対象者：要支援児童、要保護児童及びその保護者、特定妊婦等

利用件数 3件 利用回数 18回 利用時間 19.5時間

（5）内部研修

隔月で定例会を開催し、「虐待防止」、「事業継続計画」、「特殊詐欺」、「心肺蘇生」についての研修を実施しました。

（6）各種委員会の開催

虐待防止と身体拘束等適正化のための委員会 4月14日（金）

感染症の予防とまん延防止のための対策検討委員会 4月14日（金）

10 障害福祉サービス事業（障害者総合支援法）

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律に基づき、訪問介護員を派遣しています。令和5年度の実績は、次のとおりです。

（1）障害福祉サービス事業

ア 居宅介護事業

身体障害者 利用件数 14 件 利用回数 189 回 利用時間 210.25 時間

知的障害者 利用件数 26 件 利用回数 79 回 利用時間 64 時間

精神障害者 利用件数 118 件 利用回数 1,340 回 利用時間 1,211.75 時間

難病患者等、障害児の利用はありませんでした。

（2）移動支援事業（地域生活支援事業）

知的障害者 利用件数 22 件 利用回数 114 回 利用時間 228.5 時間

精神障害者 利用件数 15 件 利用回数 16 回 利用時間 20 時間

身体障害者の利用はありませんでした。

（3）内部研修

隔月で定例会を開催し、「虐待防止」、「事業継続計画」、「特殊詐欺」、「心肺蘇生」についての研修を実施しました。

（4）各種委員会の開催

虐待防止と身体拘束等適正化のための委員会 4月14日（金）

感染症の予防とまん延防止のための対策検討委員会 4月14日（金）

1.1 居宅介護支援事業（介護保険法）

平成12年4月介護保険制度の開始とともに要支援・要介護者認定者等に対し、居宅介護支援計画を作成しています。令和5年度の作成実績は、次のとおりです。

（1）居宅介護支援事業

要介護認定者に対し、居宅サービス計画を作成し、住み慣れた地域で安心して生活が送ることを目的に、介護サービスやその他保健医療サービス、福祉サービスが適切に利用することができるよう支援しました。

（単位：件）

	要介護					合計
	1	2	3	4	5	
作成数	364	280	164	71	60	939

（2）介護予防支援事業

地域包括支援センターの受託事業として、事業対象者、要支援認定者に対し、介護予防サービス・支援計画を作成し、地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援しました。

（単位：件）

	事業対象者	要支援		合計
		1	2	
作成数	12	190	228	430

（3）内部研修

隔月で定例会を開催し、「虐待防止」、「事業継続計画」、「特殊詐欺」、「心肺蘇生」についての研修を実施しました。

（4）各種委員会の開催

虐待防止と身体拘束等適正化のための委員会 4月14日（金）

感染症の予防とまん延防止のための対策検討委員会 4月14日（金）

（5）指定権者による居宅介護支援事業所運営指導

12月14日（木）

1.2 生活支援コーディネーター事業（市受託事業）

（1）生活支援・介護予防サービスの提供状態及び課題の把握

地域ケア会議（3回）に参加し、自宅内での社会参加や役割づくり、外出の課題などについて把握しました。

（2）地域における支援ニーズを把握

地域ケア会議（3回）及び顔の見える連携交流会（4回）に参加し、8050 問題やひきこもりなどの複雑化・多様化する地域課題について、高齢関係事業所や障害関係事業所などと検討しました。

（3）地域において必要な生活支援・介護予防サービスの開発、提案

地域住民によるサロン活動の支援として、新規立ち上げ相談2件、感染症対策による活動などの運営相談3件がありました。新たなサロンが1か所開設されました。

（4）生活支援・介護予防サービスの担い手の養成

いきいき介護サポーター対象の介護予防についてのアンケートを実施しました。

（5）関係者間のネットワークを構築

顔の見える連携交流会（4回）において、利用者等の対応に関する困難事例やつなぎ方について検討し、高齢関係事業所、障害関係事業所など延べ146人の参加があり、ネットワークの構築を図りました。

（6）ボランティア組織など多様な主体との情報共有及び協力依頼などの働きかけ

支会活動推進委員会（2回）において、支会活動の整理により地域の現状を把握し情報を共有しました。

（7）生活支援の充実に関する協議体への参加

生活支援ネットワーク会議（1回）に参加し、上記1～6について報告しました。

（8）地域の支援に関する要望と生活支援サービスを提供するものの活動との調整

ボランティア活動やサロン活動などの情報を提供しました。

1 3 基金運営事業

(1) 社会福祉基金運営事業

社会福祉基金は、昭和 62 年度に社会福祉事業の振興と地域社会福祉の増進に寄与することを目的に創設しました。

積立状況は、次のとおりです。

項目	金額(円)
令和 4 年度末積立金残額 ①	42,214,284
令和 5 年度基金寄付額 ②	84,087
令和 5 年度基金利息 ③	1,094
令和 5 年度基金取崩額 ④	0
令和 5 年度末積立金残額 (①+②+③-④)	42,299,465

(2) 介護運用積立基金運営事業

介護運用積立基金は、平成 16 年度に介護事業の運営の安定を目的に創設しました。

積立状況は、次のとおりです。

項目	金額(円)
令和 4 年度末積立金残額 ①	32,676,078
令和 5 年度基金積立額 ②	43,000
令和 5 年度基金利息 ③	233
令和 5 年度基金取崩額 ④	6,713,000
令和 5 年度末積立金残額 (①+②+③-④)	26,006,311

第2 公益事業

1 岩倉市ふれあいセンター事業（市受託事業）

岩倉市から平成21年度に岩倉市ふれあいセンターの指定管理者として5年間の指定を受け、各種団体への利用促進と管理運営に努めました。3期の指定期間を終えました。令和5年度の実績は以下のとおりでした。

（1）利用許可等に関する業務

利用状況は、次のとおりです。

利 用 区 分	利 用 回 数
研修・会議室（2階）	192
多目的ホール（2階）	135
視聴覚室兼研修室A（3階）	301
視聴覚室兼研修室B（3階）	288
福祉団体活動室（3階）	132

（2）維持管理業務

警備管理業務、清掃業務、設備等の保守点検、休館日等の対応、駐車場・駐輪場の管理業務、樹木保全業務等によるセンターの維持管理業務に努めました。

また、職員による館内の日常点検を実施しました。

（3）利用者懇談会の開催

ア 利用者懇談会の実施 令和6年3月19日（火）

イ 利用者アンケートの実施

アンケート依頼数 25団体 回答数 23団体

2 地域包括支援センター事業（市受託事業）

（1）地域支援事業

ア 包括的支援事業

（ア）介護予防ケアマネジメント業務

介護予防・日常生活支援総合事業において、事業対象者（基本チェックリストで該当した人）及び要支援認定者のうち介護予防・生活支援サービスを利用する人に対して、適切なサービスが提供されるよう必要な援助を行いました。

・基本チェックリスト実施件数

岩倉市地域包括支援センター 22件

岩倉東部地域包括支援センター 11件

・介護予防ケアマネジメント計画作成における利用者との契約数

岩倉市地域包括支援センター 45件

岩倉東部地域包括支援センター 23件

・介護予防ケアマネジメント計画作成数（延べ）

岩倉市地域包括支援センター 628件 委託 372件 合計 1,000件

岩倉東部地域包括支援センター 263件 委託 358件 合計 621件

（イ）総合相談支援業務

実績は次のとおりです。

		岩倉市地域包括支援センター	岩倉東部地域包括支援センター
総合相談件数（延べ）		839	858
申請代行 件数	介護保険関連	84	52
	市高齢者福祉サービス	16	15

（ウ）権利擁護業務

高齢者虐待防止、成年後見制度、消費者被害について、市や尾張北部権利擁護支援センター等の関係機関と連携し、専門的視点から支援を行いました。

・高齢者虐待防止対応の実績は次のとおりです。

		岩倉市地域包括支援センター	岩倉東部地域包括支援センター
対応件数		5	1
高齢者虐待防止コアメンバー会議		7	1
高齢者虐待防止ネットワーク会議		0	0

・成年後見制度、消費者被害に関する相談実績は次のとおりです。

		岩倉市地域包括支援センター	岩倉東部地域包括支援センター
成年後見に関する相談件数		2	9
消費者被害に関する相談		0	0

（エ）包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

地域の介護支援専門員に対し、個別の相談に対応しました。

実績は次のとおりです。

岩倉市地域包括支援センター 16件

岩倉東部地域包括支援センター 40件

また、地域の介護支援専門員に対し、研修会を実施しました。

実績は次のとおりです。

月日	内容	参加人数（参加事業所数）
9月7日	ケアプラン作成のポイント	20（15）
1月25日	介護支援専門員のための事例検討の進め方	19（14）

イ 地域包括ケアシステムの推進

（ア）多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築

岩倉市在宅医療・介護サポートセンターが開催する会議や研修会等に延べ10回参加し、医師会、歯科医師会、薬剤師会等との顔の見える関係づくりを図りました。

また、市内地域密着型サービス事業所が開催する運営推進会議に参加しました。実績は次のとおりです。

種別	事業所数	運営推進会議参加回数
認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	4	24回（うち書面開催14回）
小規模多機能型居宅介護	2	12回
定期巡回・随時対応訪問介護看護	1	2回（うち書面開催1回）
地域密着型通所介護	5	8回（うち書面開催1回）

（イ）地域ケア会議の実施

地域ケア会議は、介護支援専門員等からの相談に応じ、地域の関係機関等が会して個別ケースへの対応を協議するとともに、共通する地域課題についての検討を行います。

今年度は、昨年度に引き続き地域ケア会議の開催方法を見直すために市が主催する地域ケア会議運営検討会議が開催され、両地域包括支援センター合同で以下のとおり参加しました。

内容	回数	職員参加人数（延べ）
運営検討会議（打合せ含む）	13	41
地域ケア個別会議	4	12

ウ 認知症初期集中支援チーム

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるために、認知症サポート医、保健師等の医療系専門職、社会福祉士等の福祉系専門職からなる「認知症初期集中支援チーム」を中学校区ごとに配置し、認知症の人やその家族に早期に関わり、認知症に関する専門知識を有する関係機関との連携を図り、適切な受診や介護サービスの利用につなげます。実績は次のとおりです。

	岩倉中学校区（岩倉市地域包括支援センター）	南部中学校区（岩倉東部地域包括支援センター）
事例検討件数	18	24
同意書受理件数	4	2
訪問回数（延べ）	8	22
チーム員会議回数	10	10
終結件数	5	6
モニタリング件数	0	1

エ 認知症地域支援推進員

認知症の人やその家族を支援する体制を構築するため岩倉東部地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を配置し、研修会や交流会等へ11回、研修会等へ9回参加し、認知症に携わる機関との連携を図ることにより地域における支援体制の構築と認知症ケアの向上を図りました。

(2) 予防支援事業（指定介護予防支援業務）

介護予防支援計画作成に関する契約

	岩倉市地域包括支援センター	岩倉東部地域包括支援センター
居宅介護支援事業所との委託契約件数	26	23
要支援認定者との契約件数	98	51

介護予防支援計画作成数（延べ）

	岩倉市地域包括支援センター	岩倉東部地域包括支援センター
地域包括支援センター作成数	1, 580	440
委託事業所作成数	1, 663	1, 328
合 計	3, 243	1, 768

(3) その他

ア 岩倉市との連携

市が毎月開催する地域包括支援センター連絡調整会議に出席し、情報共有や各種事業について協議を行いました。

イ 介護予防講演会

住み慣れた地域で生きがいをもち生活するための介護予防に関する基礎的な知識を広めるため、一般高齢者を対象に介護予防講習会を開催しました。

開催日時：令和5年10月18日（水）午後1時30分から3時

開催場所：岩倉市民プラザ

講 師：BHB運動協会理事長 戸田恵利子氏（理学療法士）

参 加 者：32人

ウ 介護予防教室の開催

開催結果は次の通りです。

さくらの家（毎月第4水曜） 開催回数12回 参加者 延べ210人

第四児童館（毎月第2木曜） 開催回数11回 参加者 延べ139人

エ 職員の資質向上

外部研修に参加し、職員の資質向上に努めました。

参加実績は次のとおりです。

岩倉市地域包括支援センター 会場参加 4回 オンライン参加 2回

岩倉東部地域包括支援センター 会場参加 1回 オンライン参加 2回

オ 高齢者実態把握事業（任意事業）

戸別訪問のほか、関係機関のネットワークを活用し、様々な社会資源との連携、家族や近隣住民からの情報収集等により、高齢者的心身の状況や家族の状況等について実態把握に努めました。実績は次のとおりです。

	岩倉市地域包括支援センター	岩倉東部地域包括支援センター
ひとり暮らし認定高齢者	220人	221人
ひとり暮らし未認定高齢者	47人	0人
高齢者世帯	25件	0件

カ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業への協力

岩倉市が実施する一体的事業の一環として、健康状態が確認できない高齢者に対する健康課保健師の個別訪問に同行しました。実績は次のとおりです。

	訪問延べ人数	訪問による実態把握人数	医療等に繋がった人数
岩倉市地域包括支援センター	51人	27人	0人
岩倉東部地域包括支援センター	36人	29人	1人

キ 岩倉市認知症高齢者等見守りSOSネットワーク事業への対応

登録希望者に対する受付窓口として対応しました。また、行方不明となった認知症高齢者の捜索等の支援を行いました。実績は次のとおりです。

	岩倉市地域包括支援センター	岩倉東部地域包括支援センター
事前登録受付件数	3	5
行方不明通報・捜索・相談件数	3	1

ク 各種委員会の開催

- ・虐待防止と身体拘束等適正化のための委員会 4月14日（金）
- ・感染症の予防とまん延防止のための対策検討委員会 4月14日（金）

ケ 指定権者による介護予防支援事業所運営指導

- ・岩倉市地域包括支援センター 11月28日（火）
- ・岩倉東部地域包括支援センター 12月 5日（火）

事業報告の附属明細書

令和5年度事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細は作成しない。